



講座「各王朝の書体と漢服」の詳細は以下の通りです。

本講座では、3000年以上の歴史を持つ漢字の中から、周王朝の金文、始皇帝の小篆、漢王朝で実用した隸書、木簡、章草、今草、そして魏晋南北朝の六朝書、唐の楷書、宋の行書と合計九種類の書体の特徴を時代順で紹介し、それに合わせた漢服の変化や特徴についても説明します。

【次第】

13:30 受付開始

14:00 講座開始

各書体の説明及び各書体の実演（郭同慶先生）

各王朝の漢服服飾の紹介（蔡嘉楓先生）

15:00 質疑応答

郭同慶先生の指導のもと、参加者は9書体の手本（手本は差し上げます）の中からご自分で好きな書体を選び、その場で体験していただきます。

また、漢服の試着コーナーではご希望者に各時代の漢服を体験していただける予定です。

16:00 終了

【持ち物】書道道具（筆、墨汁、硯或いは容器）をお持ちの方はご持参下さい。

【講師紹介】

郭同慶：字豫之、号夢祺。上海出身。1987年に来日。書家。現在、翰墨書道会・王蘧常先生顕彰会会長、全日本華人書法家協会副主席、上海中国書法院海外副院長、復旦大学王蘧常研究会常務理事などを務める。

蔡秋靳：字嘉楓。上海出身。1990年に来日。書家及び漢服研究家、翰墨書道会・王蘧常先生顕彰会理事、JAPAN 漢服会理事。

主催 翰墨書道会 中国文化センター

共催 JAPAN 漢服会

講座「各王朝の書体と漢服」および「海日生華/沈曾植没後百周年記念 日中書道交流展 第九回翰墨書道会展」の関連サイトは以下の通りです。

<中国文化センター>

<http://www.ccctok.com/event/event-detail/?id=23482>

<翰墨書道会>

<https://kanboku.web.fc2.com/>